

2019年3月15日
金融庁
日本銀行

2018年度金融知識普及功績者表彰について

本日、金融庁と日本銀行では、「2018年度金融知識普及功績者」として、個人の部12名、団体の部1団体を表彰することとしました。

金融知識普及功績者表彰は、金融及びその背景となる経済についての教育活動をより一層推進するため、国民の金融に係る知識の普及・向上に功績のあった者及び団体に対して、その功績を顕彰するものです。

表彰の対象となる者及び団体には、金融担当大臣及び日本銀行総裁の連名による表彰状等を授与します。表彰状等の伝達は、後日、全国の都道府県において行います。

お問い合わせ先

金融庁 Tel : 03-3506-6000(代表)
総務企画局政策課
(内線 3827、3821)

日本銀行 Tel : 03-3279-1111(代表)
情報サービス局
(内線 4710)

(別添) 2018 年度金融知識普及功績者一覧

〔個人の部〕

(敬称略)

1. いしじま なおこ
石島 直子
(宮城県)
 - 長年にわたり、消費生活相談員として、経験と知識を生かした相談活動に従事するとともに、宮城県金融広報アドバイザーとして、旺盛な研究心と時代のニーズを捉えて活躍するなど、金融知識の普及・向上に貢献。
2. あらい くにあき
新井 邦明
(栃木県)
 - 栃木県金融広報委員会の活動方針に沿い、多数の講義、後援会等を講師として積極的に実践し、県民の金融知識の普及、向上に貢献したほか、学校での講義の実施にあたっては委員会の先頭に立って活動し、他の金融広報アドバイザーの資質向上にも寄与するなど、金融知識の普及・向上に貢献。
3. おかもと かずひさ
岡本 和久
(東京都)
 - 自らが主催するセミナーやマネー教室のほか、各種団体が主催する資産形成にかかる講演等を多数行ったほか、金融庁主催の「つみため N I S A フェスティバル」で基調講話を行い、資産形成に係る投資知識の普及・啓発活動を推進するなど、金融知識の普及・向上に貢献。
4. こばやし としゆき
小林 敏之
(新潟県)
 - 長年にわたり、金融広報アドバイザーとして、ファイナンシャル・プランナーの知見や経験を活かし、新潟県を中心に講演活動を実施したほか、高校生を対象とした消費者生活講座では金融トラブルの事例や具体的な対処方法についてわかりやすく解説するなど、金融知識の普及・向上に貢献。
5. さかくら すみこ
坂倉 寿美子
(三重県)
 - 長年にわたる消費生活相談員の経験を活かし、三重県金融広報委員会の金融広報アドバイザー就任後は、幅広い年齢層を対象に、例年数多くの講座を実施するなど、金融知識の普及・向上に貢献。
6. だんの おさむ
団野 修
(大阪府)
 - 広く一般市民対象に、金融に関する投資詐欺の未然防止のため、長年にわたり、多くの消費者啓発活動が無償かつ長期に実施しており、高齢者に多い投資詐欺や資産形成についての誤った知識によるトラブル等を未然に防止する役割を果たしているなど、金融知識の普及・向上に貢献。

7. きむら みき
木村 美紀
(鳥取県)

- ファイナンシャル・プランナーとしての知見や経験を活かし、自ら積極的に地域・自治体へ働きかけを行い、幅広い年齢層に対し講師を実施している。特に子供向けの金銭教育については、子供達が楽しめるよう常に工夫、改良を重ねて、わかりやすく実践するなど、金融知識の普及・向上に貢献。

8. やました まりこ
山下 万里子
(香川県)

- ファイナンシャル・プランナーとしての知見や経験を活かし、香川県全域で分かり易い講習会を実施しており、小学生から高齢者までの幅広い年代を対象に、対象者に応じて講演の構成を工夫しながら、積極的に講演を行うなど、金融知識の普及・向上に貢献。

9. にのみや のりこ
二宮 典子
(愛媛県)

- 金融広報アドバイザーとして、県内各地に積極的に出向き、高齢者の悪質商法被害防止や幼少期の金銭教育などについて活発に講演を行っており、特にソプラノ歌手としての経験を活かし、講演で歌を歌うなど高齢者や幼児にとって楽しくわかりやすい講演を実施するなど、金融知識の普及・向上に貢献。

10. ふじい みか
藤井 美佳
(佐賀県)

- 長年にわたる消費者生活センターの消費生活相談員としての知見や経験を活かし、金融広報アドバイザーとして、小学生から高齢者までの幅広い年代を対象に、多数かつ長期に、受講生に対し、積極的に講師を務めるなど、金融知識の普及・向上に貢献。

11. あおさき ただし
青崎 孔
(長崎県)

- 長年にわたる消費者生活センターの消費者教育推進員及び元高等学校教員及び校長としての知見や経験を活かして、消費者への啓発活動を積極的に推進し、県内の金融経済教育及び消費者教育の普及・拡大に指導的立場でも貢献するなど、金融知識の普及・向上に貢献。

12. ありま さよこ
有馬 小夜子
(鹿児島県)

- 長年にわたる消費者生活センターの消費生活相談員としての知見や経験を活かし、金融広報アドバイザー及び広域消費生活非常勤講師として、出前講座や、県民向けイベントへの従事による金融知識の普及啓発を実施するなど、金融知識の普及・向上に貢献。

〔団体の部〕

1. 愛媛県立大洲高等学校
(愛媛県)

- 金融教育研究校としての指定（平成 26・27 年度）を終えた後も、「時代を生き抜くための魅力ある金融教育の実践」という目標を設定し、金融教育に視点をおいた教科指導など、綿密な計画のもとで効果的な金融教育を展開。学校の教育活動を通して、金融知識の普及・向上に貢献。